

【 試験項目・試料・評価方法 】

使用する試料及び評価方法をご紹介します。

■ 一般生菌数は 定量試験 です。

実施月	試料	試料写真	評価方法
6月	一般生菌数測定用試料 枯草菌芽胞懸濁液		ロバスト法により算出した Zスコアで評価します。 $ Z \leq 2.0$ 満足 $2.0 < Z < 3.0$ 疑わしい $3.0 \leq Z $ 不満足
10月	一般生菌数測定用試料 バイオボール		

BFSサーベイ「細菌同定」とは

■ 細菌同定は 定性試験 です。

BFSサポートデスクから送付される5本の試料の中から受検者様が通常実施されている試験手順に沿って試験を実施していただき、大腸菌群、大腸菌、黄色ブドウ球菌の「3本はどれであるか」を答えていただく試験です。

実施月	試料	試料写真	評価方法
6月 10月 (共通)	細菌同定試料 5本の試験管培地を配布し、その中から大腸菌群、大腸菌、黄色ブドウ球菌を同定していただきます。		解答の正誤を評価します。 不正解の場合 不適（不正解）とします。

※培地の色は、実際のものとは異なります。